

「主な取組」検証票

施策展開	5-(6)-ア	県民生活を支える人材の育成
施策	③警察・消防・救急従事者の育成	
主な取組	警察基盤整備事業	実施計画 記載頁 387
対応する 主な課題	犯罪のグローバル化、情報通信技術の発達等による犯行形態の多様化、広域化などに迅速・的確に対応できる人材が求められている。	

1 取組の概要(Plan)

取組内容	【目的】 犯罪の起きにくい実現に向けた強い警察基盤の確立 【取組】 ■警察官の資質の向上						
年度別計画	24	25	26	27	28	29～	実施主体
	582人 専科受講 者数	500人			→	→	県
	警察学校等における専科開講、研修派遣、技能伝承等						
担当部課	警察本部警務部警務課						

2 取組の状況(Do)

(1) 取組の推進状況

(単位:千円)

平成24年度実績				
事業区分	予算	決算見込	活動内容	備考
①運営活動費(各種教養・研修への派遣)	①22,681	①12,641	①各管区警察学校(163名)、警察大学校(76名)への職員の派遣【県単等】	
②職員費(捜査技能伝承官)	②2,362	②2,362	②捜査技能伝承官による若手警察官・捜査員に対する捜査技能の伝承【県単等】	
活動指標名			計画値	実績値
専科受講者数			582人	573人
取組の効果				
■順調 <input type="checkbox"/> やや遅れ <input type="checkbox"/> 大幅遅れ <input type="checkbox"/> 未着手	■ 県内、県外での専科等教養に職員を派遣し、各分野におけるエキスパートを育成したほか、捜査技能伝承官による若手警察官・捜査員に対する指導等により捜査技能の伝承が図られた。			

(2) 今年度の活動計画

(単位:千円)

平成25年度計画			
事業区分	当初予算	活動内容	備考

様式1(主な取組)

①運営活動費(各種教養・研修への派遣) ②職員費(捜査技能伝承官)	①21,089 ②2,353	①階級に応じて必要な知識及び技能の修得、国際化や犯罪の多様化等に対応するため特定分野に関する専門的知識及び技能の修得のため、警察大学校及び各管区警察学校等へ警察職員を派遣 ②若手警察官・捜査員に対する捜査技能の伝承 【全て県単等】	
--------------------------------------	-------------------	---	--

(3) これまでの改善案の反映状況

計画通り進捗しており、前年度同様、事業推進を図る。

(4) 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	現状値	H28目標値	改善幅	全国の現状
-	-	-	-	-	-
参考データ	沖縄県の現状			傾向	全国の現状
-	-	-	-	-	-

状況説明	各種教養等によりエキスパートの育成、捜査技能の伝承等が図られているところであるが、大量退職期、大量採用期が続くことから、引き続き取組を推進する。
------	--

3 取組の検証(Check)

(1) 推進上の留意点(内部要因、外部環境など)

■ 大量退職、大量採用期にあり、豊富な経験、高度な知識、技能を有するベテラン捜査員が退職していく一方で、若手警察官が増加している状況にあることから、各種技能の技能伝承が課題

(2) 改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

■ 各種専科教養の継続実施のほか、捜査技能伝承官による技能伝承

4 取組の改善案(Action)

■ 警察学校における各種専科教養を継続実施するとともにその内容については、治安情勢に応じ随時見直しを実施するほか、捜査技能伝承官を活用した捜査技能の伝承を継続的に推進する。